

出会いとコミュニケーション

理事 山本善子

「高知県中途失聴者・難聴者の会」29年度第5回は「新年交流親睦会」でした。

ご出席くださった方々に感謝です。参加者の中でも、とりわけ養成講座修了ほやほや3名のフレッシュな女子の笑顔に一同が癒されました。今後の活動に期待をしております。

ところで2017年12月のNHK”社会を変えるアイデア“という番組があり、その最優秀賞は『ユニバーサル・サウンドデザイン』という難聴の人が聞きとりやすい音の出るスピーカーだったそうです。代表者の中石真一路氏は「聞こえにくいから外に出てない人って結構高齢の方にいると思う。まわりが聞こえにくい方に配慮してくれれば、外に出て活動するようになると思う。」聞こえのバリアフリー“と言っているんですが、バリアフリーな音を作ることができる」と知ってもらえた。」と話しています。

このスピーカーは普通のスピーカーよりも音の広がりを抑え、雑音を減らすように工夫され、難聴の人が聞きとりやすい音質だけ強調することに成功したものだそうです。片手で差し出せる程の大きさで、クリニックなどで実際に役立っているそうですが、個人的には高額すぎ、せめて公的な施設の窓口に設置してもらえないものかと思った次第です。

久しぶりに会った難聴者同士の互いに抱擁せんばかりの様子に、日頃コミュニケーションの少なさにもどかしく我慢してのことと想像すると、そういうスピーカーの重要性を大切に考えます。

やまもも会員
3月現在 62名
(内 賛助会員4名)

<要約筆記 高知・やまもも のできごと>

平成13年 (2001)	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣数 87件 (含 養成講座講師派遣) ・かたつむり教室 ・全スポ大会視察 (よさこいピック支援準備) ・会長 松村滋子
-----------------	---



木曜会のこと

塩田幸子

常日頃から意識して年月を数えることをしていない。何年にやまももに入会したのかも言えない。確かなのは、何年か前に心弾ませて養成講座を受けたこと、講座終了後入会直後から木曜会に行くようになったこと。それはひとえに要約筆記が少しでもできるようになりたかったことと何十年ぶりかで人とともに学ぶことが楽しかったから。そして、正確な答えはない要約筆記の検証に喧々諤々の教室に醸し出されている雰囲気魅かれて。しかし、いつしか会へ足を運ぶ回数が少なくなっていった。なぜか。意志薄弱。多分、最初から参加しているメンバーはほぼ変わらず、毎回出席して勉強している。恐るべき持続力！この源は何処にありや。感嘆あるのみ。本来、努力すべきはずの後入りのただ今長期欠席中の劣等生はもともとできてなかったのが、ますます書けなくなっている。反省。継続こそ前進と言いつつも聞かせる日々。

自然に振舞える人に

藤崎文子

越路吹雪が好きでCDをよく聴く。先日、Eテレで坂東玉三郎が越路吹雪の歌をカバーしている番組を見た。女形の玉三郎は見慣れているが番組の中の彼は化粧もしていないし洋服姿でマイクに向かっていった。ボイストレーニングをきっかけに歌ってみようと思ったと語っていた。その彼の歌声に思わず聞き惚れてしまった。ものまねではない彼自身の歌にとても魅力を感じて、しみじみと彼の顔を見ていた。男性でもない、女性でもない、人としての玉三郎だった。そうだ、人は人であって性別とか障害のあるとかないか、その他諸々のバリアを除いて、ひとりの人として向き合う大切さを改めて感じた。視覚障害とか聴覚障害とか、とかく自分の感覚を越える方たちに向かうとき、私はつい身構えることがある。まだまだ慣れない私だが少しずつ心がけて自然な振舞いの出来る私でありたいと思った。

木曜会

廣田美子

やまももに参加できるのも家族の協力あつてのこと。三日続けて出るときなどは少し機嫌が悪くなることもあり「えらい忙しいね」と皮肉を言われるときもあるが、定期的に行われる木曜会は家族権を得て「明日は勉強会やね」と言われるようになっている。

私の苦手は国語。漢字に書き順があると知ったのは高校生になってから(そんなことはないだろう)と思う。木曜会の参加メンバーは多くが日本語や国語に精通しているようだ。という私自身、いつのまにか文の構成にも気づけるようになった。ずっと取り組んでいる日本語練習帳も役に立っている。今年も木曜会、頑張る！

【30年度事業概要】

- 1. 要約筆記者養成講座 5月開始予定・高知市障害者福祉センター
- 2. 講座生募集PR テレビ高知3月下旬～4月上旬・FM高知4月中
- 3. 要約筆記者現任研修 企画中
- 4. スキルアップ研修 企画中
- 5. 助成事業 要約筆記イベント 2月～4月
- 6. 勉強会 土曜会・パソコン勉強会・木曜会



【お詫びと訂正】

※そよ風の吉田様から以下のとおりご指摘がありました。

広報ナンバーの29年7月号がNo. 218なのに8月号はNo. 2189になり、そのまま続いているとのご指摘。お詫びして訂正いたします。そよ風の吉田様、ありがとうございました。

人・ヒト・ひと

横顔-15

山下啓一 さん

★本欄、2人目の男性登場！滋賀県に移転されてからもずっとやまもも会員でいてくださる山下さん。PC要約筆記の草創期から活躍して下さった方です。眼鏡の似合うさわやかな風貌が記憶にあります！



■入会年は？／入会は2000年頃でした。当時はパソコン通信という草の根ネットワークがあり、たまたま難聴者の方も参加されていて、その難聴者の方の紹介でパソコン要約筆記の勉強会に参加したのがきっかけでした。手で文字を書くのは苦手だけど、パソコンは好きな私は、仕事以外で社会に関われる世界として、興味を持ち参加するようになりました。当時は、手書きの養成講座しかなく、その中に入れていただき学ぶ事ができました。

■趣味は？／パソコンや機械いじりです。機械全般は好きですね。

■嫌いなことは？／手で文字を書くことでしょうか。他に選択肢がない時は、仕方なくやっています。

■習慣／毎朝のストレッチ運動、15分の瞑想。

■理想のタイプ／人の話をよく聞く人かな。

■いけないと思いつつ

やってしまうことは？／最近はスマホゲームですね。寝床の中でもやってしまう。

■自分の性格は？／真面目であること。

一つの事に熱中すると他に関心が向かなくなる。

★次回も
お楽しみに

読書

「百人百句」 大岡信 著

塩田幸子

昨年亡くなった大岡信がかつて朝日新聞のコラムで長年執筆してきた「折々のうた」から選んだ百人の俳句、百句。実際は百句どころか数えきれないほどの句がぎっしり詰まっています。俳句と言えば、静かさや……しか思い浮かばない私のような鈍感人を俳句に誘ってくれる。読む者の眼前に浮かび広がっていく四季の情景と心。そこにあるのは十七文字で完結する研ぎ澄まされた世界。帯の文言は「百人の俳人が命をかけた日本語の豊かなきらめきがここにある」。人口に膾炙した句から小説家を含む古今の句まで、現代詩人の鑑賞が心に沁みる。折に触れてページをめくりたい一冊。

掲示板

敬称略



◆要約筆記デモンストレーション

(公益信託高知市まちファン助成事業)

イオン旭町店 2F おらんく広場

1回目 2月25日

2回目 3月25日

3回目 4月25日

(日)13時～17時

※内容・PC要約筆記体験・紙芝居・クイズ

※当日ふらりの参加も歓迎！

買い物ついでに家族やご近所もお誘いで日頃の活動紹介はいかがですか！

◆全要研高知支部平成29年度事業講演会 ＜演題＞

「聴覚障害者が長く安定して働くために
一説明力の大事さー」(入場無料)

講師；いそひと大手町施設長

戸田重央 氏

日時：3月10日(日)午前10時～12時

会場：高知市障害者福祉センター

その他：会後に懇親会有(希望者)

申込・問合せ：支部長 小倉雅子

TEL 088-856-8457 ・ FAX 088-845-2585

Mail ogura_annko_0207@yahoo.co.jp

Amazonでのお買い物は ⇒ やまもものホームページ Amazon アソシエイトから。※購入金額の一部が広告宣伝費として Amazon からやまもものに支払われ、活動費となります。※購入金額に宣伝費が追加されることはありません。

30年3月 活動予定

日・曜	会 合 名	時 間	場 所
3日(土)	理事例会	10:00~12:00	障害者福祉センター
11日(日)	中途失聴者・難聴者の会	13:30~15:30	障害者福祉センター
15日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
17日(土)	土曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
18日(日)	こうちこどもファンド活動発表会	13:30~16:30	南部健康福祉センター
22日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター
29日(木)	木曜会	10:00~12:00	障害者福祉センター

30年2月 活動追加

日・曜	会 合 名	時 間	場 所
2日(金)	ノートテイク		
4日(日)	高知県児童生徒表彰表彰式	12:30~16:00	オレンジホール
5日(月)	ノートテイク		
8日(木)	ノートテイク		
9日(金)	対話と実行座談会	14:20~16:20	県庁 正庁ホール
10日(土)	地域活性化フォーラム	13:30~17:00	県立大永国寺キャンパス
14日(水)	木曜会 15日を変更	10:00~12:00	障害者福祉センター
15日(木)	市町村身体障害者団体指導者研修会	13:30~16:00	人権啓発センター
21日(水)	ノートテイク		

歳時記：3月(弥生・やよい) ー日本の行事・暦ー

草木がいよいよ茂る月という意味。

「弥」はいよいよという意味で、「生」には生い茂るという意味があります。

季節は仲春 啓蟄(=3月6日ごろ)から清明(=4月5日ごろ)の前日まで。



《まっくら》

■ ずいぶん前の話。日和佐でお参りをしていると後ろにいた子どもが「手を叩いている」と言っていたのが聞こえたが何のことか気にならなかった。しばらくして仏教はお参りのときは手を叩かないと知り恥ずかしかった。家は神式なので盛大な拍手でお参りする習慣が身についていたのだ。お寺参りもよくするが「おじゃまします。」という意味でのお参りとどめ、お願い事はなるだけしないことにしている。信心もしないのにお願ひするのは少し気がひけるからだ。初詣に行くと大勢の人が祈っていた。神様も忙しいことだ。(美) ■ 白内障の手術を勧められたとき、娘曰く「普通よ」ときた。年寄りには昔の体験が邪魔をして遅滞する。左目だけを思いきると友人曰く「何、片目手術に入院、もったいない！」だって。ともかく一泊二日の小旅行の軽い感覚にしてくれたことは確かだ。医師の苦労はいざ知らず、十分ほどギラギラ輝く光を見据えて手術は終わった。二日目、見たくもないものを見た。治ったはずの五十年前の顔の傷がまだ痛々しい。(善) ■ 小中学時代、ゲームの勝敗を真剣に競い、学習の手助けもした男の子。二十年以上の歳月が経ち昨年父親になった。その彼が先日我が家を訪れ「もう高い所には上がられん。自転車で遠くへは禁止。必ず僕に電話をしてね。」と言う。天職を得、穏やかな社会人となり私への優しい心遣いまでも。肩幅広くハンサムな若者に満たされ一年が始まる。(滋) ■ 新年度に向け各事業担当者たちは新企画を練っている。恒例でも気は抜かないし真剣に取り組んでいる。故に楽チンな輩も出てくる。(三)